

Noism Company Niigata 評価書

18thシーズン（令和3年9月～令和4年8月）

団体名	新潟市民芸術文化会館		
運営者	(公財)新潟市芸術文化振興財団	活動期間	令和1年9月1日 ～ 令和4年8月31日
所在地	中央区一番堀通町3番地2		
カンパニー概要	設立年月:平成16年4月 (経緯) ①市民ミュージカル「家なき子」に金森穰氏が出演 ②金森穰氏に舞踊部門芸術監督就任を打診 ③金森穰氏から専属舞踊団の設立提案を受け、(公財)新潟市芸術文化振興財団と新潟市との協議のうえ、 専属舞踊団設立に同意 Noism芸術監督:金森 穰(演出振付家、舞踊家) 団員数:Noism副芸術監督1人、Noism1リハーサル監督1人、Noism2リハーサル監督1人、 専属ダンサー20人(Noism1:12人、Noism2:8人)、専属スタッフ5人(令和3年9月1日現在) 専属契約:個々のダンサーと契約を締結 ※ダンサーは新潟市に居住することが条件		

設置目的	
(1)新潟において、質の高い新たな舞踊作品を創造し、全国・世界に向けて発信する。 (2)地方から大都市に向けての新たな舞台作品の創造・発信のネットワークを形成する。 (3)活動を通して、新潟における舞踊の普及・育成などを図り、市民文化の振興に貢献する。	
成果目標	
【上演活動】 ① 質の高い舞踊作品を創造し、全国・世界に向けて発信する 【地域貢献】 ① ニーズ調査及び実施準備が整い次第、ワークショップ、アウトリーチ、スクール事業等の実現に取り組み、新潟市民のNoismに対する認知度を向上を図る ② これまで実施してきた普及事業を改善・充実し継続実施する ③ 新潟市内で活動する舞踊団体等と連携し、新潟の舞踊文化の向上に貢献する ④ スタジオBの市民利用機会を確保するため、Noism活動による占用を段階的に緩和し、最終的に年間占用期間を10か月間とする 【国内他館との連携】 ① 他館との良好な関係性を構築し、国内のネットワーク事業の実現に取り組む ② 事業費削減や仕込み期間の短縮など、ネットワーク事業に適した企画の立案や作品の創造を行う 【Noism以外の舞踊作品の鑑賞】 ① 金森穰氏以外の振付家、若しくは他の舞踊団の公演を実施することに取り組む 【コンプライアンスの遵守】 ① 館運営方針への対応 ② 情報共有 ③ 指揮命令系統の確認 ④ 予算執行権の明確化 【職員の労務管理】 ① 人員体制の確保 ② 超過勤務の縮減	

【評価基準】

- A：要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている(複数の指標の場合、全てを達成し、かつその達成度・内容が優れている)
 B：要求水準(評価指標)が達成されている(複数の指標の場合、全てが達成されている)
 C：要求水準(評価指標)が達成されていない(複数の指標の場合、全ては達成されていない)
 (評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

18thシーズン(令和3年9月～令和4年8月)

実績欄()はウイルスの感染拡大防止のため中止になった数

視点	評価項目	評価指標	実績		自己評価	市評価		
			17th(参考)	18th		評価	評価コメント	
上演活動	質の高い舞踊作品の創造・発信	Noism1 新潟公演数	2回以上	3回	3回	A	A	「境界」「Noism×鼓童」は全国的に発信された
		Noism1 新潟公演来場者数	2721名以上(15th実績)	2076名	2929名	A	A	特に「Noism×鼓童」は観客層の拡大に貢献した
		Noism2 新潟公演数	1回以上	1回	1回	B	B	
		Noism2 新潟公演来場者数	514名以上(15th実績)	513名	601名	A	A	要求水準を大きく上回った
		県外での主催公演数	2回以上	2回	2回	B	B	

視点	評価項目	評価指標		実績		自己評価	市評価	
				17th(参考)	18th		評価	評価コメント
地域貢献	新潟市民からの認知度の向上 (自主事業のみ対象)	アウトリーチ活動	2回以上	5回	12回	A	A	回数を倍増させるなど積極的に取り組んだ
		Noismサマースクール(3回×5日間)	15回以上	15回	9回	B	B	サマースクールについては、参加者の負担を考慮し3日間に短縮したため要求水準を満たしていないが、Noism0が直接指導し、昨年度より参加者が大幅に増加したことや、有識者会議の意見を勧案し、B評価とした ワンデイスクールとオープンクラスについては、県の特別警報発令に伴う臨時休館等でやむを得ず中止したことにより要求水準を達成できなかったものであり、有識者会議の意見も勧案し、B評価とした
		Noismワンデイスクール	2回以上	1回	1回(1)	B	B	
		Noismオープンクラス「Noismバレエ」	24回以上	12回	8回(4)	B	B	
		Noismオープンクラス「からだワークショップ(子供)」		1回	1回			
		Noismオープンクラス「からだワークショップ(大人)」		4回	3回(1)			
		Noismオープンクラス「Noismレパトリー」		6回(1)	8回(2)			
		視覚障がい者向けワークショップ	1回以上	1回	2回	A	A	リハーサル鑑賞による体感を組み込むなど、より理解を深めるための工夫がみられる
	柳都会等	2回	3回	2回	B	B		
	新潟の舞踊文化の向上への貢献	市洋舞踊協会合同公演ワークショップ	2回以上	公演:2回 WS:11回	2回	B	B	
ワークショップやトーク企画等の依頼企画への出演数(個人活動を除く)		1回以上	7回	8回(1)	A	A	各種団体からの依頼企画に積極的に対応した	
スタジオBの市民利用機会の確保		貸出可能日数	56日	57日	64日	A	A	空き状況をホームページで早期に周知し、市民が使いやすいよう配慮した
国内他館との連携	国内のネットワーク強化への取り組み	共催企画	2ヶ所以上	2ヶ所	2ヶ所	B	B	
		他館主催	1ヶ所以上	3ヶ所	4ヶ所	A	A	山形、愛知、京都、高知と、広い地域にわたり、指標も大きく上回った
		他館等からの依頼による公演・事業の実施(個人活動を除く)		6回(1)	6回	A	A	地元団体等からの依頼に積極的に対応した
	ネットワーク事業に適した作品の創造	他劇場のニーズに応じた作品の創造		有	有	B	B	
Noism以外の作品鑑賞	招聘振付家若しくは他舞踊団の公演を実施	振付家の招聘		1回	1回	B	B	
		Noism以外の舞踊公演	1回以上	1回	2回	A	A	昨シーズンから続けて他団体の公演を実施し、回数も増やした
コンプライアンスの遵守	館運営方針への対応	「活動延長に係る合意書」及び「館の理念・ミッション・アウトカム」を遵守し、8月末日までに次シーズン活動計画を立案のうえ、りゅーとびあ承認及び市の同意を得る		立案のうえ承認・同意を得た	立案のうえ承認・同意を得た	B	B	
	情報共有	りゅーとびあ、市との定例会を毎月開催する		毎月開催した	定例会に替えてメール等で情報共有した	B	B	コロナ禍を踏まえた対応で、情報共有の頻度も増えている
	指揮命令系統の確認	財団処務規程に定める事務専決事項に基づき企画の採否が決定されている		事務専決に基づき採否決定した	事務専決に基づき採否決定した	B	B	
	予算執行権の明確化	財団会計規程等予算等に関する各種規程等を遵守し、定められた予算の中で効率的に執行している		各種規程に基づき効率的に執行	各種規程に基づき効率的に執行	B	B	
職員の労務管理	人員体制の確保	欠員を生じさせない。やむを得ず欠員が生じた場合には速やかに補充する		適切に人員を確保した	適切に人員を確保した	B	B	
	超過勤務の縮減	制作現場の指揮監督者は、りゅーとびあ職員が36協定を遵守するよう作業工程等を監督する		監督のうえ遵守した	冬公演で36協定を遵守できなかった	C	C	

自己評価（数値に表れない定性的な評価、アピールポイント）

上演活動、地域貢献活動、共に充実し、活動の広がりを実感できたシーズンであった。コロナ禍は未だに収束の兆しが見えないが、昨シーズン同様、感染症対策に留意し、ほぼ予定通りに数多くの事業を遂行することができた。

国内公演は2021年12月～2022年1月に新潟・東京・高知の3会場で実施した「境界」、新潟・埼玉・京都・愛知・山形の全国5都市ツアーが実現した2022年7月の「Noism×鼓童『鬼』」ともに好評を博した。「境界」はNHK-BSプレミアムで全国放送され、反響を呼んだ。「Noism×鼓童『鬼』」は新潟公演が早々に完売。観客からは早くも再演を希望する声があがり、専門家からも世界に通用する日本の作品と高い評価を得た。横浜で開催された3年に一度のダンスの祭典「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA」のために創作した小林十市×Noism Company Niigata『A JOURNY～記憶の中の記憶へ』も作品とともにNoism0、Noism1メンバーが放つ圧倒的なエネルギーが評価され、新潟発を広く知らしめた。国際交流基金が日本の優れた舞台公演作品をオンライン配信するプロジェクト「STAGE BEYOND BORDERS - Selection of Japanese Performances-」で、Noismの作品『春の祭典』と『残影の庭～Traces garden』が無料配信された。視聴回数は既に13万回を超え、現在も全世界へ発信されている。

地域活動としては、小学校でのアウトリーチを12校で実施。昨年度はコロナ禍の影響もあり鑑賞がメインであったが、本年度は体験も取り入れたことで、これまで以上に、子どもたちとの交流を図ることができた。また、ここ数年視覚障がい者の方々とのワークショップを続けているが、今回「Noism×鼓童『鬼』」の公演に合わせ、リハーサルを最前列で鑑賞いただき、Noismの舞踊を体感していただいた。Noism2も活動の場が更に広がり、いいがた総踊りでのオンライン出演にはじまり、アース・セレブレーションでの鼓童との共演など、Noismの認知度向上にも大きく貢献した。

サマースクールはオープンクラスとの差別化を図るため、Noism0が直接指導する集中講座として実施。これまでの5日間を3日間に短縮したが、密度の濃い内容に参加者の満足度も高かった。

全体評価記載欄（未達成項目への改善策を含む）		市による総合評価（所見）	
	評価		評価
<p>冬公演で舞台スタッフが36協定の月次上限を超える勤務があった。その反省を活かし、夏公演ではツアースタッフのローテーションを実施するなどの対応を行い、超過勤務削減を図った。</p> <p>上記以外の項目については、自己評価欄に記載したとおり、全て達成する、またはそれ以上の成果を上げることができた。</p>	B	<p>18thシーズンにおける「上演活動」及び「国内他館との連携」については、特に同じく新潟県内に拠点を置く鼓童との共演による「新潟」をテーマとした公演を、新潟、山形、埼玉、愛知、京都と広い地域にわたり開催し、コロナ禍以前を上回る観客数を得るなど、質の高い新たな舞踊作品を創造・発信するとともに、国内のネットワークの形成と観客層の拡大に努めた。</p> <p>「地域貢献」については、市民や地元団体のニーズに積極的に対応し、市民のNoismに対する認知度の向上を図り、新潟における舞踊の普及・育成に貢献した。特に学校アウトリーチについては、訪問校数を倍増させるとともに、体験要素を取り入れることで子どもたちの舞踊への理解をいっそう深める工夫を行った点を高く評価する。</p> <p>また、目標と同水準の回数を予定していたものの、コロナ禍による臨時休館等によりやむを得ず評価指標を達成できなかった項目も一部あるが、今後も感染防止に配慮しつつ、事業を進めていくことを期待する。</p> <p>「Noism以外の作品鑑賞」については、Noism以外の団体等の公演回数を増やすことにより、舞踊文化の多様性を市民に伝えた。</p> <p>「職員の労務管理」については、今回の評価結果を受けて、原因を分析し具体的な改善策を講じることにより、適切な労務管理を行える体制を整えるよう強く求める。</p> <p>以上を踏まえ、新型コロナウイルス感染症対策の影響が続くなか、一部未達成の項目もあるが、全体を通して改善の意識をもって積極的に取り組む姿勢が認められる。設置目的を十分に理解し成果目標を概ね達成できていることから、総合的にBと評価する。</p> <p>続く19thシーズンに向けて、より多くの市民が文化芸術に親しめるよう、質の高い芸術作品の創造・発信に加え、公演以外の地域活動等にも、引き続き、積極的に取り組んでいただきたい。</p> <p>地域活動等の取り組みにあたっては、障がいがある人となない人の相互理解を深める共生社会の実現や、本市の舞踊文化を継承する地元人材の育成にも注力していただきたい。</p>	B